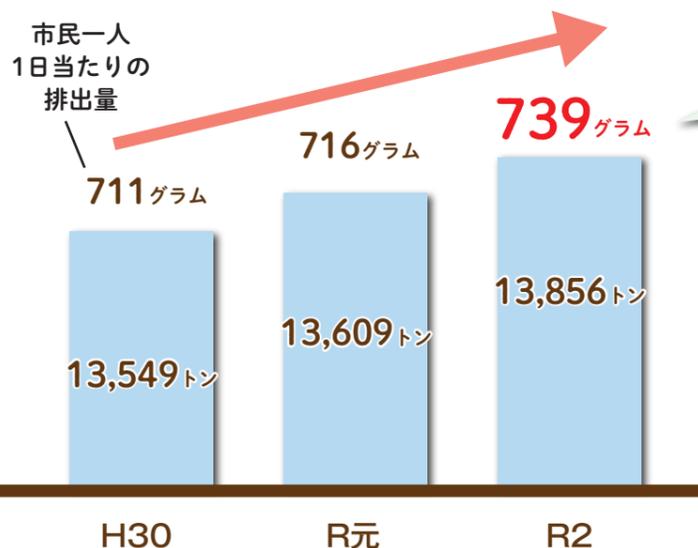


6月は  
環境月間

# ごみを減らすと 未来が変わる!

## 市内の家庭ごみ排出量の推移



本市のごみ排出量は年々**増加傾向**にあります  
また、令和2年度の県民一人1日当たりの排出量は**721グラム**で約20グラムも多くなっています。



そこで…

## 3Rでごみを減らす心がけを!

### Reduce (リデュース)

- 〔ごみを減らすこと 出さない工夫をすること〕
- ・買い物はマイバックを使用する。
  - ・詰替えできる製品を選ぶ。

### Recycle (リサイクル)

- 〔資源として再利用すること〕
- ・資源化できるプラ容器や紙を分別して出す。

### Reuse (リユース)

- 〔もう一度使うこと〕
- ・不用品はフリーマーケットやガレッジセールなどに出す。
  - ・知人に譲る。

「環境白書」(令和3年度環境省発行)では、ごみの焼却灰などを埋め立てる最終処分場は、**あと21.4年で国内全て満杯になる**と予想されています。

『ごみを減らし、環境負荷の少ない循環型社会を目指す』。自分には関係のない話に聞こえがちですが、あなたの行動一つで、未来は大きく変わります。今できることから、一つずつ取り組みましょう。

## ごみを減らすためにできること

### 食品ロスを減らそう!

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。日本では、年間約570万トンが廃棄されています。食品ロスを国民一人当たりで換算すると、毎日約124g(お茶碗約1杯のご飯)の食べものを捨てていることになります。

#### 家庭で捨てられやすい食品



引用: 消費者庁作成「計ってみよう! 家庭での食品ロス」



- ・買い物の前に在庫を確認し、使い切れる分だけ購入!
- ・食材ごとに適した保管をし、賞味期限・消費期限をこまめに確認!
- ・料理は食べきれぬ量を作り、残ったら保存して早めに食べる!

### 生ごみを減らそう!

#### 生ごみ減量化器具を使う

#### しっかり水を切る

生ごみの水分を切るだけで、可燃ごみを約1割削減できます。また、悪臭や腐敗の防止にもなります。



生ごみ処理器を利用すると、約8割も減量できます。また、処理後に堆肥として使用できる物もあります。

補助制度は、市内在住で該当器具を1年以内に購入した方が対象です。詳しくは市ホームページをご覧ください。



購入費の補助制度があります!

市生活環境課 生活環境係  
TEL 34-0370

